

中日桥汉语

中国語——日中の架け橋

赵延风

〔日〕吉田庆子

陈

敏

张恒悦

〔日〕

冈田英树

编

著

〔初级上〕

北京大学出版

中日桥汉语

中国語——日中の架け橋

(初级上)

赵延风 [日]吉田庆子 陈敏 张恒悦 [日]冈田英树 编著



北京大学出版社
PEKING UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

中日桥汉语. 初级. 上 / 赵延风等编著. —北京: 北京大学出版社, 2012.4

ISBN 978-7-301-20350-7

I. 中… II. 赵… III. 汉语-对外汉语教学-教材 IV. H195.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2012)第032094号

书 名: 中日桥汉语(初级上)

著作责任者: 赵延风 [日]吉田庆子 陈敏 张恒悦 [日]冈田英树 编著

责任编辑: 杜若明

标准书号: ISBN 978-7-301-20350-7/H·3023

出版发行: 北京大学出版社

地 址: 北京市海淀区成府路205号 100871

网 址: <http://www.pup.cn>

电 话: 邮购部 62752015 发行部 62750672 编辑部 62752028 出版部 62754962

电子邮箱: zpup@pup.pku.edu.cn

印 刷 者: 北京宏伟双华印刷有限公司

经 销 者: 新华书店

787毫米×980毫米 16开本 13印张 200千字

2012年4月第1版 2012年4月第1次印刷

定 价: 70.00元(配有光盘)

未经许可,不得以任何方式复制或抄袭本书之部分或全部内容。

版权所有,侵权必究 举报电话: 010-62752024

电子邮箱: fd@pup.pku.edu.cn

立命馆孔子学院·北京大学对外汉语教育学院
《中日桥汉语》(中国語——日中の架け橋)
编辑委员会

顾 问: [日]竹内实

監 修: [日]中川正之 [日]是永骏

总 主 编: 李晓琪

初级主编: [日]冈田英树 赵延风 [日]吉田庆子

总序

俄国教育学家乌申斯基曾说过，“好的教科书和有效的教学法，能使没有经验的教师成为一个好老师。如果缺少这些，一个优秀的教师也难以真正在教学上登堂入室。”这句话明确地告诉我们，教材在第二语言教学中，始终占据着相当重要的位置。

随着汉语作为第二语言教学在日本的不断深入，不仅学习人数快速增加，且学习者的类别也不断增多，除了大学和中小学外，很多不同类型的企业、很多海外投资公司的工作人员都加入到了汉语学习的行列。在这一形势下，对教材，特别是对有针对性的教材的需求越来越迫切。本套系列教材正是在这一大背景下应运而生。本套教材的编写者衷心希望此套教材的出版能够为广大在日本本土学习汉语的需求者提供积极的帮助，同时也为在中国学习汉语的各类日本朋友提供多一个选择。以下是本套教材的概括介绍。

编写原则

针对性 充分考虑学习者的母语特点，在全面研究有别于欧美学习者的学习规律基础上，针对日本人和日本人学习汉语的特点，确定教材编写模式，力求提高以日语为母语的学习者汉语学习效率。

科学性 吸收国际最新的教材编写理论，吸收汉语最新研究成果，在汉语语言要素选择、输入、练习设计等诸多方面进行全面考量，循序渐进，力求教材内容科学专业。

真实性 从初级到高级，不同阶段突出不同特点，但各段的共同点都是以实现语言交际为目标。场景设置和材料的选择都与某一真实环境相结合，使教材真正可以做到学以致用。

系统性 参考国内外先进的第二语言标准，特别是汉语水平测试标准，整套教材为小台阶多级别的组合，共分为初级、准中级、中级、高级四段，每一段上下两册，全套教材共有八册。

文化性 教材在选材上突出文化底蕴，尤其注意中日文化的交流与碰撞，使语言学习的过程同时成为文化交融的过程，充分体现出多元文化大

背景下语言教学的崭新面貌。

结构目标

全套教材共有四段八册,各段的具体目标是:

初级 以结构为纲进行编写,同时兼顾功能项目,力求二者完美结合。初级教材的编写重在体现出针对性特点,即针对日本人学习汉语时需要加强的方面,采用听说领先的编写方式,同时又兼顾到中日语言中汉字的中介作用,使教材从初级起,就展现出有别于传统的、面向欧美学习者的汉语教材的崭新面貌。初级阶段的词语在800左右,学完初级,可以进行初步的日常交际。

准中级 以情景和功能为纲进行编写。为体现情景的真实性和实用性,上册侧重于日本情景,下册侧重于中国情景,并尽可能做到寓功能于情景之中,同时注意补充初级阶段未曾学习的语法项目。课文多是对话加叙述的形式,力求自然、轻松、有趣,以引发学习者的兴趣。同时,以多种形式强化听和说的训练,进一步体现母语为日语者的教材特点。学完准中级,词语达到1600左右,可以独立在中国生活,并用汉语进行简单的沟通。

中级 以功能和话题为纲进行编写,同时兼顾中级阶段的语法项目。在前两阶段的基础上,加强学生对中日同形词音义对照辨析能力的培养。课文形式由主要是对话体转为文章体,课文内容从主要是日常生活交际语言的学习转为对更具社会、文化含量文章的读解与听说,从而提高在较深层次、较宽领域运用汉语进行表达和交际的能力。学完中级,词语达到3200左右,可以比较自由地用汉语与中国人进行沟通和交流。

高级 以体现世界共通文化内涵的话题进行选材和编写。内容聚焦于中日两国不同领域的社会生活和文化现象。选文重在语言规范优美、便于思想碰撞和展开讨论。在巩固中级掌握的语法知识、听说能力和交际能力的基础上,力求提高学习者对较深较宽领域的汉语文献有准确系统的读解能力,并掌握较好的写作能力。学完高级,有效词语达到6000左右,学习者可以用汉语自由地表达思想、进行交际。

教材特点

国别教材 语言教学理论,特别是二语学习理论的研究成果已经充分表明,不同母语的学习者,由于自身母语的不同,在学习第二语言的时候,会产生不同的学习特点和难点。因此,针对不同母语者的不同需求,从第二语言教材的编写原则出发,针对某一国别的特殊需求编写教材是十分科

学有效的,这也正是本套教材最突出的特点之一。

合编教材 本教材的另一特点是,这是一套名副其实的中日合编教材。从教材的策划到编写大纲的制定,从总顾问的邀请到教材总主编和总监修的配合,从各册主编的确定到编写人员的组成,以至每一课的具体编写,每一步都凝聚了中日双方人员的心血和智慧,其目的就是中日双方各自发挥所长,扬长避短,合编教材。

趣味教材 本教材内涵十分丰富,其内容不但贴近学生生活,而且特别注重凸显中日两国的文化,同时放眼世界,展示人类共通文化;练习形式多样,既丰富又实用,既有针对课文内容的问题,也有具有启发性的开放式问题,使学习者在学习教材的同时,有很宽广的拓展和深化思考的空间,使得学习过程充满了挑战与趣味。

有效教材 以上几个特点,体现出本教材明显地不同于以往的汉语教材。她针对日本人学习汉语的实际需求,她凝聚了中日双方汉语教师的共同智慧,她科学、有趣、实用、有效。我们相信,这是一套全新的受到使用者欢迎的有效教材。

本套教材从2008年策划到2012年正式出版,历经四年。其间日本立命馆孔子学院付出了极大的努力。作为本套教材的总主编,我首先要向立命馆孔子学院致以最衷心的感谢,是你们的睿智和果断,使得教材得以问世;同时,我也要感谢北京大学和立命馆大学的校领导,你们的决策和支持,保证了教材的持续编写;我还要感谢为本教材的策划和提出建设性意见而付出心血的所有中日朋友,你们的参与与献策,使得教材锦上添花!最后,我要感谢参加编写教材的全体中日教师,谢谢你们的辛勤付出!感谢北京大学出版社和汉语编辑部的领导和编辑,最终,这套体现中日合作结晶的成果在充满生机与活力的北京大学出版社落下帷幕!

由于水平和能力,本套教材一定还有需要进一步改进的地方,欢迎听到各方朋友的宝贵意见。

李晓琪

2012年春于北京大学

総序

ロシアの教育学者ウシンスキーは、「よい教科書と効果的な教授法は経験の浅い教師を一人前の教師にすることができる。これらがなければ、優秀な教師であっても教育のより深い境地に達することは難しい。」と述べている。この言葉からもわかるように、第二言語教育において、教科書は非常に重要なものである。

日本では中国語教育の拡大に伴い、学習人口の増加だけではなく学習者のレベルも多様化している。大学や小中高校以外でも、各種企業、海外投資会社の社員などが中国語学習者となっている。このような状況の下、教科書に対する要求は高まってきており、このニーズに応えるべく本シリーズは生まれた。この教科書の出版により、日本における中国語学習者によりよい学習環境を提供し、また中国の日本人中国語学習者にも学習ツールの選択肢の一つとして加えて頂けたらと願っている。この教科書シリーズの概要は以下のとおりである。

編集原則

一) 対象をはっきりさせた構成

学習者の母語の特性を考慮していること。欧米系学習者とは異なる学習法則の研究に基づき、日本人の中国語学習の特徴に即した教科書編集を行うことにより、日本語を母語とする学習者の学習効率を高めた。

二) 科学性

最新の国際的な教科書編集理論と中国語研究の成果に基づき、中国語素材の選択、導入、練習問題の設定などについて全面的に吟味し、専門的かつ科学的であるよう努めた。

三) 実際性

初級から上級まで、それぞれのレベルで異なる特徴を打ち出すと同時に、各レベルともに中国語によるコミュニケーション能



力の向上を目標とした。シーン別会話の設定や素材の選択は全て現実社会に即したものであり、これにより、実際に使うことに役立つ科書とした。

四) 系統性

国内外の第二言語教育基準、特にHSK基準を参考し、細かいレベル設定をする。本シリーズは初級、準中級、中級、上級の4段階で構成され、各級上・下冊、全8冊で構成した。

五) 文化的

本教科書は日中文化交流など文化的側面も取り入れることにより、語学学習の過程で文化についても知識を深めることができる。多元文化の背景のもと、新しい言語教育の姿を明らかにした。

目標構成

本教科書シリーズは4段階計8冊で構成される。各級の目標は以下のとおりである。

初 級: 構造的を軸に編集し、機能的項目も考慮し、構造を理解し、機能も果たせるようにした。初級テキストは対象を明確にして編集したことが特長で、日本人学習者の弱点であるリスニングとスピーキングに重点をおき、同時に日中両言語における漢字のもつ橋渡し機能に着目し、初級段階から従来の欧米系学習者向け教材とは異なる新しいタイプの教科書とした。初級の語彙量は約800程度、学習終了後は初歩レベルの日常的コミュニケーションが可能である。

準中級: シーン別会話と機能性を軸に編集した。会話場面の現実性と実用性を高めるため、上冊では日本の状況、下冊では中国の状況に焦点を合わせた。会話場面はできるだけ機能的に、また初級で述べられなかった文法事項についても補足を行った。本文は会話に叙述文を加えた形式で、自然で、負担にならない、楽しい、学習者の興味をかきたてる内容とした。同時に、多方面からリスニングと会話能力を強化することにより、日本語を母語とする学習者に即した教材という特長を打ち出している。準中級学習終了後、語彙量は約1600、単独で中国で生活することができ、中国語

を用いて簡単なコミュニケーションを図ることができる。

中 級：機能性とトピックスを軸に編集を行い、同時に中級レベルの文法事項についてもふれた。初級、準中級での学習という基礎のもと、日中同形語の発音と意味に関する対照弁別能力を養う。本文は会話形式から文章形式に、内容は日常生活で使用するフレーズの学習から更に社会的、文化的要素をもつ文章の読解と運用となり、より深い、広い領域で中国語を用いた表現力、コミュニケーション力の向上を目指す。中級学習終了後は、語彙量約3200、比較的自由に中国語を用いて中国人とコミュニケーションし、交流することができる。

上 級：世界に通用する文化的内容を表したトピックスを軸に題材選択と編集を行った。内容は主に日中両国の様々な社会的、文化的現象をとりあげた。文章は規範的で、文体の美しいものを選択し、思考がぶつかり合い、活発な討論を促進できるものとした。中級で学習した文法知識、リスニング力、会話力とコミュニケーション能力の基礎の上に、より深く広い領域の中国語文献に対する正確な読解能力をできるだけ向上させ、同時に作文能力も養う。上級学習終了後、語彙量は約6000、学習者は中国語で自由に自らの考えを表し、コミュニケーションを行うことができる。

教科書の特長

対象国別教科書

言語教育学理論、特に第二言語学習理論の研究でもすでに明らかになっているが、母語の異なる学習者では、第二言語学習上の優位性と弱点も異なる。よって母語の異なる学習者のニーズに対して、第二言語学習教材の編集原則に基づき対象国別に教科書を策定することは科学的で効果的であり、この教科書シリーズの最大の特長のひとつでもある。

日中合作教科書

教科書のもう一つの特徴は、日中合作教科書であるということである。教科書の企画から編集大綱の策定、総顧問の招聘から総主編、総監修の協力により、各テキスト主編の決定から編者の構成および各課の執



筆まで、すべてが日中双方の知恵と努力の結晶であり、お互いの良いところを取り入れた合作教科書である。

おもしろい教科書

教科書は学生の生活に密接した内容となっているだけではなく、日中両国の文化に焦点をおくと同時に世界に目を向け、人類共通の課題にも触れた豊富な内容となっている。また豊富で実用的、本文に即した様々な練習問題を用意しており、学習者により広く深く思考を促し、学習過程においてチャレンジ精神と楽しみをかきたてる内容となっている。

効果的な教科書

以上の特長より、この教科書は他の中国語教科書とは一線を画したのものとなっている。教科書は日本人学習者のニーズに即した、日中双方の中国語教師の知恵の結晶であり、科学的で面白い、実用性に富んだ効果的な教科書である。本シリーズが学習者に広く受け入れられると信じている。

本教科書シリーズは2008年の企画から2012年の出版まで、4年の時間を費やした。この間、立命館孔子学院は多大な労力を費やして下さった。本教材の総主編として、立命館孔子学院に心より感謝申し上げる。貴学院の英知と果断により、この教科書は世に出ることができた。同時に、北京大学と立命館大学の学園執行部の方々にも感謝したい。二つの大学の執行部各位の意思決定と支持により、教科書編集を継続することができた。また、この教材の企画に対して助言くださったすべての日中両国の友人にお礼を申し上げたい。皆様方の参画と助言により、本教科書をより素晴らしいものにすることができた。最後に、本書の編集に尽力いただいた日中双方の教員に感謝の意を表す。北京大学出版社と中国語編集部の責任者と編集者にも感謝したい。この日中合作の結晶は北京大学出版社より出版される。

本教科書シリーズの不十分な点などについては、先生方、学習者の方々から忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いである。

李晓琪

2012年春北京大学にて

关于本教材的说明

本教材的使用对象及目标

本教材为对日系列汉语教材中的初级部分,教材分为上下两册,共24课,总词汇量在800词左右,适合入门和初级汉语学习者使用。本教材学完后,学习者可以用较标准的汉语进行简单日常沟通交流,为进一步学习打下良好基础。

本教材的特点

本教材具有以下几个突出特点:

1. 面向日本学习者,突出日本人学习汉语的特点和难点。
2. 注重交际能力的培养,特别强调听说能力的训练。
3. 以学生为中心,注重在用中学,在体验中学,在互动中学。
4. 注重发音,为避免汉字对于日本学习者中文发音的负面影响,教材中大量使用了拼音。
5. 提供充足的有针对性的练习,方便教师课堂使用和学生课下自学。

教材的体例

◎ 本教材每课分由以下几个主要部分组成:

【会话】每一课有两个小对话,展示本课的交际功能及词汇语法的使用。

【生词和短语】对会话中生词短语注音并给出日语释义。

【生词练习】用环环相扣的练习形式,使学生建立生词音义、音形之间的联系,从而掌握会话中的生词。

【会话练习】通过多种练习,使学生掌握会话展示的句型和交际功能。

【本课学过的基本句型】对本课的重点句型做出总结。

【扩展练习】在熟练掌握生词和会话的基础上,逐渐进行真实交际训练。

【语音练习】进行语音专项训练。

【格言古诗等】根据日本学习者的特点,安排了日本人耳熟能详的的中

国古诗或格言,既训练了发音,又提高了学生的兴趣。

◎ 除此之外,每三课之后有一个三课的语法小结,供师生参考。

教材的使用

本教材每课大约需要4学时或2大节课(每节课90分钟)完成。具体教学步骤,建议先学习【生词和短语】并做【生词练习】,然后进入【会话】,在【会话练习】完成后,开始进行【扩展练习】,最后进行【语音练习】和【格言古诗】等。在课时不足的情况下,教师可将一部分练习留为课下作业,这样也可以在一个学期内完成一册教材的教学。如果每周课时较多,则可以充分展开练习中的内容,特别是扩展练习部分的内容,使学生得到更多的课上交际练习机会。另外,【本课学过的基本句型】最好要求学生全部熟读背诵。教师也可以每三课根据教材的语法小结,给学生进行语法方面的梳理。

以上教学设计只是编写者的建议,有经验的教师完全可以使用自己的方法,更有创意地使用本教材。

特别说明

本教材执笔者按其执笔部分先后顺序署名。上册的执笔分别是:语音部分 陈敏;1—3课 赵延风;4—6课 吉田庆子;7—9课 陈敏;10—12课 张恒悦;语法小结 冈田英树;下册的执笔分别是:13—16课 张恒悦;17—20课 章天明;21—24课 陈敏;语法小结 冈田英树。

另外,本教材从最初着手到最后成书历时3年多时间,很多人为此付出了心血,北京大学派立命馆孔子学院工作的志愿者冉泽曾在编写初期参与大纲的制订,李丹小姐在中期曾做了大量的电脑输入工作,绢川浩敏先生在后期曾协调修改等事宜,在此谨致谢忱。

编者

2012年3月

教科書をお使いの皆さんへ

教材についての説明

教材の対象者と目的

この教材は、日本人用中国語シリーズ教材の初級です。教材は、上下に分かれており、あわせて24課、総単語数は800程度、初めて中国語を学ぶ人や、初級段階の学習者を対象としています。この教材を学び終われば、学習者は標準的な中国語を使って、簡単な日常的意思疎通が可能となり、学習をさらに進めるためのしっかりした学習基盤をつくることができます。

教材の特徴

この教材は、以下のような特徴をそなえています。

1. 日本人学習者のためのものであり、日本人が中国語を学習する上での優位性と弱点に配慮しています。
2. コミュニケーション能力を身につけることを重視し、リスニング能力・スピーキング能力のトレーニングに重きをおいています。
3. 学習者が中心となり、中国語を使いながら学び、体験しながら学び、関係しあいながら学ぶことに重きをおいています。
4. 発音のマスターに力を入れており、日本人学習者が中国語の発音をマスターする上で漢字に頼るマイナス面をさけるため、ピンインをたくさん使っています。
5. 目標をはっきりさせた「練習」を提示し、教師が授業中に練習させ、学習者が授業後に自学する便宜をはかりました。

教材のスタイル

この教材はそれぞれの課を以下のセクションに分けています。

【基本文型】この課で学ぶ重要文型をまず整理しています。

【会話】各課には二つのスキットがあり、その課のコミュニケーション機能と単語・文法を明示しています。

【単語と短文表現】スキットに出る新出単語、フレーズにピンインをつけ、日本語の訳をつけました。

【単語練習】スキットに関連した単語をくり返し練習し、学習者が単語の発音と意味、音のかたちの関連をつかみ、会話の中の単語をマスターします。

【会話練習】さまざまな練習を通して、会話で示した文型とコミュニケーション機能をマスターします。

【ステップアップ】単語と会話をきちんとマスターしたあとに、実際のコミュニケーショントレーニングをします。

【発音練習】発音特訓コーナーです。

【格言や漢詩】日本人学習者の特長をいかして、慣れ親しんでいる中国の漢詩や格言をおきました。発音をトレーニングできる上に、学習者の関心をひくことでしょう。

このほか、3課ごとに、3つの課の文法のまとめをおきました。参考として役立ててください。

教材の使い方

この教材は、各課おおよそ4授業時間または2コマ(1コマ90分)を想定しています。学習の進め方としては、まず、【単語と短文表現】を学習し、あわせて【単語練習】を行い、その後で【会話】に入り、【会話練習】がおわってから、【ステップアップ】に入ってください。最後に【発音練習】と【格言や漢詩】を行ってください。授業時間が足りない場合は、一部の練習を宿題として課してください。1学期内(半年)で1冊の教材が終えられるはずですが、毎週の授業時間がより多い場合は、練習、とりわけステップアップの部分に時間をかけ、学習者が授業中でのコミュニケーション練習の機会を充分にとれるようにして下さい。このほかに【基本文型】を、できるだけ学習者が暗唱するようにして下さい。3課毎の文法のまとめで、文法面での整理を行ってください。

以上の授業プランは、編著者の提案であり、経験豊富な先生方にはご自分のやりかたで、より創意工夫に富んだ使い方をお願いします。

最後に

この教材の執筆者は執筆部分の順に従って、署名させていただきました。上冊の執筆担当は、発音：陳敏、1～3課：趙延風、4～6課：吉田慶子、7～9課：陳敏、10～12課：張恒悦、文法のまとめ：岡田英樹、下冊の執筆担当は、13～16課：張恒悦、17～20課：章天明、21～24課：陳敏、文法のまとめ：岡田英樹 です。

この教材は、構想に着手してから完成まで3年余りの時間を要しました。多くの方々の努力の結晶であり、北京大学から立命館孔子学院に派遣された院生ボランティアである冉澤氏は編纂の初期に要綱の制定に加わっていただき、李丹女史には、大量の文章のコンピュータ入力業務に関わっていただき、絹川浩敏氏には、最後の手直しに加わっていただきました。記して、感謝いたします。

編者

2012年3月

汉语拼音

(中国語ピンイン)

三要素:声调(声調) 韵母(母音) 声母(子音)

1. 要素1

1. 声调(四声):中国語では、一つの音節に高低、上げ下げの四つのアクセント(声調)があり、四声ともいう。



一声	二声	三声	四声
高く平かに	一気に上げる	低く押さえる	一気に下げる

カタカナ部分の発音が、どの声調に近いか確かめよう。

A: キャー、蛇よ!

B: エエッ、本当?

B: ヘエーッ、本物だ!

A: アーア、恐かった。

